

2021年度 成果

清掃活動、様々なイベント、レゴランド・ジャパン、名古屋グランパスとの連携企画、小学校出前授業、コラボ商品開発などを通して愛知県内で環境問題に取り組んでいるまたは行動に移さなければと考えている企業・団体や愛知県・名古屋市を代表とする各自治体と強固なネットワークを形成する事ができた。また、各取り組みの前後でプレスリリースを配信したり、今まで一緒に取り組んできた方々や打合せ段階の方々(約130人)へもしっかりと情報を発信し続けた事により、たくさんの新規問い合わせをいただき、その中からイベント実施へと結びつける事ができた事例も生まれた。子供たちと関わる事も多かった本年度、学習だけではなく実際にごみを拾ってみたり、楽しさやためになる要素を盛り込んだイベントを通して子供たちの海ごころの形成の一助となれた。



NEWな取り組み・自治体連携モデル

名古屋市環境局が取り組んでいたプロギング(ごみ拾い×ジョギング)に、より多くの参加者を募ってムーブメント化するためテレビを使って告知・イベント開催。



イベントパッケージ化モデル

愛知県にしかないレゴランド・ジャパン・リゾート、シーライフ名古屋にて水族館を見学したりレゴブロックを使った海洋ごみ問題体験学習イベントを通して子供たちの海ごころ形成を図った。



小学校出前授業

6校約530人の小学生へ制作した教本・映像を使って授業。県内で絶大な認知度を誇る自社キャラクターメリ夫くんも派遣。



コラボ商品開発

サガミ、海ごみゼロアワード環境省受賞 折兼とコラボし、全国136店舗へ約12万箱のオリジナルテイクアウト容器を展開。

その他：名古屋グランパス U-18 SDGs ACADEMYごみ拾い企画 調整中

メディア露出



5/22 「丸山桂里奈のチャレンジ SDGs ~SPORTS×SDGs~」



6/26 「お宝ちゃん」



7/24 「お宝ちゃん」



8/10 「情報ステーション はちまるご」

その他：TV 15本 CM 2,002本 新聞 1社 掲載

2021年度の課題とこれからの展望

SDGsが叫ばれている今、何かアクションを起こさなければと思っているが、具体的に何から始めたらいいのだろうと足が止まっている企業が愛知県内にはまだまだたくさんあるという事がわかった。それらの企業へ本プロジェクトの趣旨を説明し、21年度はいくつかの実施事例を作る事ができた。来年度も協力・共創パートナーを増やしながら愛知県民の意識を上げていきたい。ジブリパーク(愛・地球博記念公園)、レゴランド・ジャパン、サッポロビールなどのビッグネームとのコラボを通してより多くの人へ海洋ごみ問題を訴求するとともに、本年度実施して子供たちの笑顔が輝いていた小学校出前授業を来年度も行い、未来を担う子供たちの海ごころ形成を図る。